

## トカラ列島口之島の植物採集記録

森田 康夫\*

The Report of the Plant Collection on Kuchino-shima in the Tokara Islands, Kagoshima Prefecture  
Yasuo MORITA

### はじめに

口之島は、トカラ列島の最北端、北緯29度57分、東経129度54分に位置し、周囲約13.3km、面積約10.5km<sup>2</sup>の火山島である。島は、北北西から南南東にのびた長方形をした本体に、北北西に向かう短い半島が付着したような形をしている。最高点は中央部よりやや南にある標高628mの前岳で、その南部に噴気孔をもつ燃岳（標高425m）とタナギ岳（標高453m）、島の西部には山頂に電波塔のある横岳（標高501m）があり、北西部には烏帽子岳（標高233m）とホトケビラ岳（標高183m）、さらに島の北端には標高235mのセリイ岳があつて、島全体が山塊状をなして断崖となって海に到り、平地は少ない。

島の人口は150人余りであるが、その多くが島の北部の口之島集落に集中し、他には北西海岸の西之浜港にわずかに数軒がある程度である。主要な産業は農林水産業と観光業で、島の北部や西部に牧場がひろがり牛の放牧がおこなわれている。また、島の南部には野生化した牛が生息しており、昔の古い形態を残した牛として研究されている。

口之島の植物相については、川畑（1957）、初島（1974）、平田（1995）、志内（1995）等の報告があるが、これらのうち初島は口之島の高等植物を418種と報告し、平田は482種を報告している。

また、当博物館の脇忠雄は1989年に3日間滞在して112種を採集し標本として収蔵した。さらに寺田（1999）は、2回にわたって調査を行い、395種を確認し、詳細な植生図を作成している。

この口之島において筆者は、2000年の8月と2003年の8月に当博物館の資料収集調査活動の一環で植物資料の採集を実施した。2000年の調査は、当該年度に実施した「トカラ展」に出品する固有

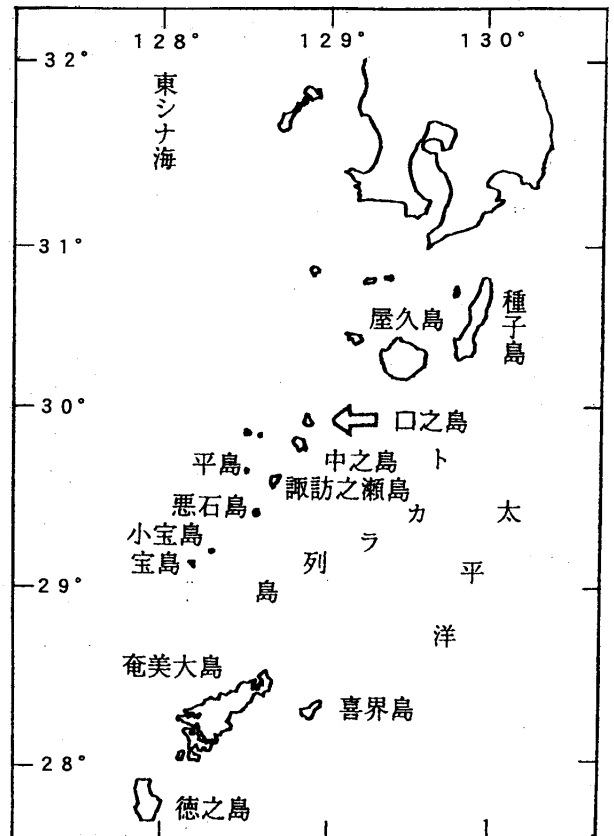


図1 口之島位置図

\* 〒892-0853 : 鹿児島市城山町1-1 鹿児島県立博物館

種等の採集を目的としたもので、2003年の調査は横岳東面にある赤池周辺など、湿地の植物採集を目的としたものである。いずれの場合も短期間の調査で、採集した植物はごくわずかに過ぎず、口之島全体の植物相に言及できるようなものではないが、若干の知見も得たので報告する。

なお、調査にあたっては、収集や同定において当博物館元学芸指導員の丸野勝敏氏、及び疑問種の同定について鹿児島大学名誉教授の初島住彦氏にお世話になった。また、十島村教育委員会には採集等の便宜を図っていただいた。この場を借りて厚く感謝申し上げる。

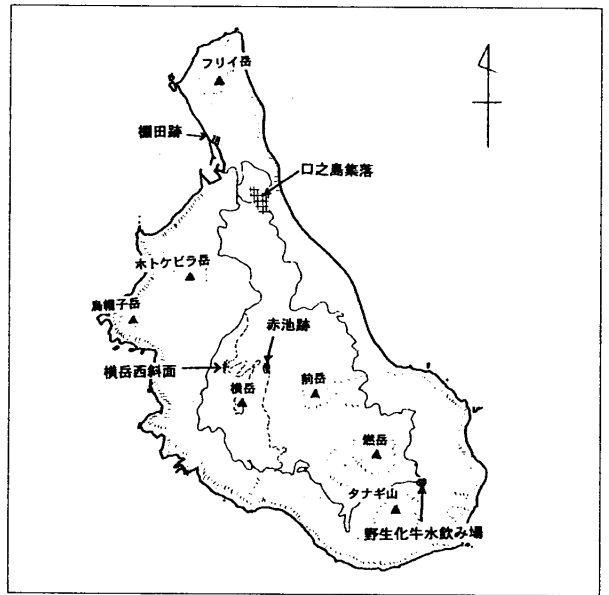


図2 口之島の植物採集域

## 1 調査域の概要と植生

2000年の調査は、「トカラ展」に出品するトカラ列島固有種の採集を目的としたもので、過去の文献等の資料を参考に島内の各地を探し歩いた。2003年は、湿地植物採集を主な目的とし、横岳北東にある赤池や西之浜港近くの水田跡地、燃岳南東部の野生化牛の水飲み場などで採集活動を行った。(図2参照)

口之島の植生については、寺田(1999)によると、島のおよそ北側半分を占める代償植生のリュウキュウチク群落、前岳と燃岳の鞍部や横岳西側のスダシイ群落、島の南部に多いモクタチバナータブノキ群落、低木林としてオニヤブソテツ―ハマビワ群集やトカラアジサイ―ヒサカキ群集、海岸のアダン群集、ハマアズキーグンバイヒルガオ群集等が報告されている。放牧や火入れなど人為的な影響や火山性の急傾斜地もあって原生的な森林は少ないが、横岳周辺や野生化牛の生息する燃岳一帯は照葉樹林も多少は残されており、植生や植物相も多様である。

以下に採集を行った主な地域の概要を述べる。

### (1) 横岳北東の赤池跡地

地元の人の話では、数年前の干ばつで池の水は完全に干上がってしまい、それ以後乾燥した状態が続いているとのことで、調査段階においてもメヒシバやイヌタデ等の丈の低い草に覆われ、草原化していた。周囲からリュウキュウチクの侵入も認められるので、しだいにリュウキュウチク林に移行するものと予想される。

### (2) 西之浜港近くの水田跡地

湧き水を利用した棚田跡に湿性や水生の植物が繁茂している場所である。イヌクログワイやタイワンカモノハシが優占し、スズメハコベが水没した状態で生育していた。

### (3) 燃岳南東の水飲み場

野生化牛による踏み圧が強いせいか植生は貧弱である。メヒシバが優占する丈の低い草地となっており、キングジカやイボクサ等が生える。特異な湿性植物は認められない。

## 2 採集した植物種についての考察

次項の表は、今回の調査で採集した植物種の一覧表である。合計35科59種の高等植物を採集し、標本にして収蔵した。短期間で限られた地域での調査であるため、採集種数はそれほど多くないが、初記録種や分布上注目すべき種など、若干の知見を得たので以下に述べる。

また、今回の調査で採集した植物資料は、すべて標本化して当博物館に収蔵してある。

### (1) 初記録種について

#### ① ハゼラン *Talinum crassifolium* スベリヒユ科

西インド諸島原産の一年生草本で明治時代初期に観賞用として導入され、現在では各地で逸出して野生化している。トカラ列島ではこれまで記録がなく、今回口之島の集落の路傍で採集したものがトカラ列島での初記録となる。

#### ② マメグンバイナズナ *Lepidium virginicum* アブラナ科

北アメリカ原産で世界中に広く帰化している越年生草本。本県でも各地に見られるが、トカラ列島ではこれまで悪石島、宝島、小宝島だけでしか記録はなく、口之島は初記録となる。集落の路傍で採集した。

#### ③ イヌトウバナ *Clinopodium micranthum* シソ科

種子島・屋久島が南限といわれ、これまでトカラ列島での自生は確認されていなかったが、今回口之島の赤池跡地で採集したものがトカラ列島初記録となる。同時に南限がやや南下したことになる。

#### ④ イボクサ *Murdannia keisak* ツユクサ科

トカラ列島ではこれまでシマイボクサは全島で記録されていたが、イボクサについては中之島と宝島しか記録されていなかった。今回口之島燃岳南東の水飲み場付近で採集したが、シマイボクサも赤池で採集しており、これまで混同されてきた可能性がある。

### (2) トカラ列島固有種について

#### ① トカラカンアオイ *Asarum tokarensis* ウマノスズクサ科

トカラ列島の口之島と中之島、それに黒島と口永良部島だけに固有のカンアオイの一種である。口之島では横岳西面の樹林帯などで割合普通に見られる。

#### ② トカラタマアジサイ *Hydrangea involucrata* ユキノシタ科

トカラ列島の口之島と諏訪之瀬島、それに黒島だけに固有のタマアジサイで、近縁種は本州の福島県から岐阜県の太平洋側の山地に分布しており、この地の自生地は遠く離れた隔離分布といえる。口之島では、前岳北側斜面の林道沿いで2カ所の自生地を確認した。

#### ③ オオモクセイ *Osmanthus rigidus* モクセイ科

トカラ列島の口之島と中之島、諏訪之瀬島、さらに屋久島と黒島に固有の低木である。口之島では、横岳西側の照葉樹林内で自生しているのを確認し採集したが、個体数はそれほど多くない。

#### ④ トカラカンスゲ *Carex atroviridis* var. *scabrocaudata* カヤツリグサ科

トカラ列島の宝島、小宝島を除く島々と三島村の黒島に分布するスゲのなかまで、口之

表 口之島で採集した植物目録

シダ植物 *Pteridophyta*

科名	和名	学名	備考
コバノイシカグマ科	イワヒメワラビ	<i>Hypolepis punctata</i>	
オシダ科	コバノカナワラビ	<i>Arachniodes sporadosora</i>	
	オリヅルシダ	<i>Polystichum lepidocaulon</i>	
	ナチシケシダ	<i>Deparia petersenii</i>	

[計 2科 4種]

種子植物 *Spermatophyta*

被子植物 *Angiospermae* [双子葉類]

科名	和名	学名	備考
イラクサ科	ヤンバルツルマオ	<i>Pouzolzia zeylanica</i>	
タデ科	イヌタデ	<i>Persicaria longiseta</i>	
	イタドリ	<i>Keynoutria japonica</i>	
ウマノスズクサ科	トカラカンアオイ	<i>Asarum tokarense</i>	トカラ固有
ヒユ科	アオビユ	<i>Amaranthus viridis</i>	
スベリヒユ科	ハゼラン	<i>Talinum crassifolium</i>	帰化・初記録
キンポウゲ科	キツネノボタン	<i>Ranunculus silerifolius</i>	
アブラナ科	マメグンバイナズナ	<i>Lepidium virginicum</i>	帰化・初記録
ユキノシタ科	トカラタマアジサイ	<i>Hydrangea involucrata</i>	トカラ固有
バラ科	ビロードカジイチゴ	<i>Rubus ribisoideus</i>	
マメ科	クサネム	<i>Aeschynomene indica</i>	
フウロソウ科	ゲンノショウコ	<i>Geranium nepalense</i>	
カタバミ科	カタバミ	<i>Oxalis corniculata</i>	
トウダイグサ科	カンコノキ	<i>Glochidion obovatum</i>	
	シマニシキソウ	<i>Euphorbia pilulifera</i>	
アオイ科	キングジカ	<i>Sida rhombifolia</i>	
ウコギ科	カクレミノ	<i>Dendropanax trifidus</i>	
セリ科	ノチドメ	<i>Hydrocotyle maritima</i>	
ウリ科	オオカラスウリ	<i>Trichosanthes bracteata</i>	
	キカラスウリ	<i>Trichosanthes kirilowii var. japonica</i>	
ヤブコウジ科	カラタチバナ	<i>Ardisia crispa</i>	
サクラソウ科	モロコシソウ	<i>Lysimachia sikokiana</i>	
エゴノキ科	エゴノキ(ケエゴノキ)	<i>Styrax japonica</i>	
モクセイ科	オオモクセイ	<i>Osmanthus rigidus</i>	トカラ固有
アカネ科	シラタマカズラ	<i>Psychotria serpens</i>	

科名	和名	学名	備考
アカネ科	ボチヨウジ	<i>Psychotria rubra</i>	分布上特異
	ビシンジュズネノキ	<i>Damnacanthus indicus</i>	
		<i>var. intermedius</i>	
	フタバムグラ	<i>Hedyotis diffusa</i>	
	ヘクソカズラ	<i>Paederia scandens</i>	
クマツヅラ科	ショウロウクサギ	<i>Clerodendrum trichotomum</i>	
		<i>var. esculentum</i>	
シソ科	イヌトウバナ	<i>Clinopodium micranthum</i>	初記録
ナス科	フユサンゴ	<i>Solanum pseudocapsicum</i>	栽培逸出
ゴマノハグサ科	スズメハコベ	<i>Microcarpaea minima</i>	
スイカズラ科	ソクズ	<i>Sambucus chinensis</i>	
キク科	サジガンクビソウ	<i>Carpesium glossophyllum</i>	
	オオアレチノギク	<i>Conyza sumatrensis</i>	
	タカサプロウ	<i>Eclipta prostrata</i>	
	ウスベニニガナ	<i>Emilia sonchifolia</i>	
	ブクリュウサイ	<i>Dichrocephala integrifolia</i>	
	サツマノギク	<i>Dendranthema crassum</i>	

[ 計 28科 40種 ]

[ 単子葉類 ]

科名	和名	学名	備考
ユリ科	コバナホウチャクソウ	<i>Disporum sessile var. micranthum</i>	分布上特異
ツユクサ科	シマイボクサ	<i>Murdannia loriformis</i>	
	イボクサ	<i>Murdannia keisak</i>	初記録
	マルバツユクサ	<i>Commelina benghalensis</i>	
	シマツユクサ	<i>Commelina diffusa</i>	
イネ科	タチスズメノヒエ	<i>Paspalum urvillei</i>	
	タイワンカモノハシ	<i>Ischaemum aristatum</i>	
	コブナグサ	<i>Arthraxon hispidus</i>	
カヤツリグサ科	タシロスゲ	<i>Carex sociata</i>	
	トカラカンスゲ	<i>Carex atroviridis var. scabrocaudata</i>	トカラ固有
	ハマスゲ	<i>Cyperus rotundus</i>	
	イガガヤツリ	<i>Cyperus polystachyos</i>	
	イヌクログワイ	<i>Eleocharis dulcis</i>	
ラン科	ユウコ克蘭	<i>Liparis formosana</i>	
	ツルラン	<i>Calanthe furcata</i>	

[ 計 5科 15種 ]

総計 35科 59種

島では横岳の西側斜面の照葉樹林内で採集した。それほど個体数は多くないと思われる。

(3) 分布上注目すべき種

① ボチョウジ *Psychotria rubra* アカネ科

種子島・屋久島北限の低木であるが、トカラ列島では口之島しか記録がない。燃岳南部、水飲み場付近の林内で採集した。

② コバナホウチャクソウ *Disporum sessile var. micranthum* ユリ科

トカラ列島と奄美諸島に固有のホウチャクソウの変種である。分布の北限は口永良部島で、口之島の個体はその南にあたる。横岳西側の照葉樹林内で採集した。

おわりに

暖温帯と亜熱帯の移行帯といわれるトカラ列島の最北部にある口之島で、2回にわたる植物資料の採集を行った結果を報告した。短い期間でもあり、島のごく一部の地域でしか採集できなかったが、35科59種の高等植物を採集し収蔵資料として標本化することができた。

これらの中には、4種類の初記録種の他にトカラ列島に固有な種や北限に近い種など、分布上注目すべき種も含まれ、新たな知見を得ることができた。

口之島は北部から中央部にかけての大部分がリュウキュウチクに覆われ、前岳や燃岳のような標高の高い山も中腹以上は傾斜が急で火山性のため植被率は低い。種の多様性が高い森林植生は限られているが、亜熱帯性植物の侵入も多数認められ、今後時間をかけて調査を行うことで、さらに多くの知見を得ることができるとと思われる。

引用・参考文献

- 川畑健三, 1957, 口之島の植物目録. 46-57. (謄写)
- 志内利明, 1995MS, トカラ列島の植物相. 鹿児島大学理学研究科系統分類学講座 修士論文
- 寺田仁志, 1999, 口之島の植物相と現存植生, 県立博物館研究報告. 18, 43-78.
- 初島住彦, 1975, トカラ列島の植物相, 鹿児島の植物. 3, 1-42.
- 初島住彦, 1991, 北琉球の植物, 41. 朝日印刷書籍出版, 鹿児島
- 平田 浩, 1995, 十島村史, 56-146. 十島. 鹿児島
- 脇 忠雄, 1990, トカラ列島の植物(1)口之島の採集目録, 県立博物館研究報告. 9, 23-29.